

収容定員充足率（毎年度5月1日現在）

学校名	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
慈恵看護専門学校	96.7%	97.0%	102.0%	104.7%	102.3%
慈恵第三看護専門学校	101.3%	102.7%	102.7%	94.0%	102.0%
慈恵柏看護専門学校	97.9%	101.7%	101.3%	100.4%	105.8%

(1) 慈恵看護専門学校

I. 教学関係

1. 学校運営に関する会議

- ① 慈恵看護専門学校運営委員会は学校長、副校長、教務主任、事務長の4名をもって構成され、定例で原則毎月1回開催されている。
- ② カリキュラム運営委員会は副校長、教務主任とカリキュラム委員6人で構成され原則月2回開催されている。
- ③ その他の会議として、教職員会議は定例で原則月1回開催、教員会議が原則隔週で開催されている。

2. 教学関連の主な事項

- ① 2022年度1年生（73期生）95名、2年生（72期生）99名、3年生（71期生）96名、合計290名で新学期を迎えた。
- ② 2022年度オリエンテーションは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面およびeラーニングを活用し実施した。
- ③ 授業・実習評価アンケート
学生による授業・実習評価アンケートを基礎分野、専門基礎分野科目、専門分野科目、統合分野科目の講義及び臨地実習科目で実施し、結果について講師へ報告した。
- ④ 終講試験
同時出題方式（本試験・再試験・追試験）の試験出題依頼を行い実施した。
- ⑤ 2022年11月1～2日、3年生の学外セミナーは学内セミナーに変更し実施した。「ケアの本質」について話し合い、看護についての学びを深めた。
- ⑥ 2023年3月10日に71期生の卒業式が挙行され、90名が卒業した。

II. 入学試験

1. 2023年度入学試験は次のとおり実施した。

推薦・大学卒選考〔一次〕2022年10月13日（木）〔二次〕2022年10月22日（土）
一般選考 〔試験〕2023年1月8日（日）

志願者数は199名（推薦48名・大学卒28名・一般123名）で、昨年度より57名減少した。

2. オープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら来校型とweb学校見学会を併用して実施した。

III. 国家試験

第112回看護師国家試験は、2023年2月12日（日）に実施され、その結果が3月24日（金）に発表された。71期生90名が受験し、89名が合格であった。

IV. その他

・入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

慈恵の看護専門学校は、卒業時の到達目標を達成できる学生として、入学時には次のような人材を望んでいる。

- 1) 慈恵の精神に共感し、看護実践に取り組む意欲がある人
- 2) 目標に向かって自ら学び続けることができる人
- 3) 他者の意見を聞き、自分の意見を伝えて信頼関係を作ることができる人
- 4) 看護を学ぶために必要な基礎学力を持ち学習することができる人
- 5) 人に対する関心と思いやりがもてる人

6) 誠実で良識ある行動ができる人

・卒業時の到達目標（ディプロマ・ポリシー）

- 1) 人間を統合された存在として幅広く理解できる
- 2) 看護の対象者との信頼関係を形成するためのコミュニケーションができる
- 3) 豊かな人間性を備え社会的規範を理解し行動できる
- 4) 科学的根拠・倫理に基づきさまざまな健康状態に応じた看護を実践する
- 5) 保健・医療・福祉システムにおける看護と多職種の役割を理解し連携・協働できる
- 6) 生涯にわたり継続して専門的能力を高めていくことができる

・教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

慈恵の看護専門学校は社会のニーズに応じて医療施設のみならず在宅および保健医療福祉分野に貢献できる専門職を育成している。

教育課程は、教育理念、教育目標、卒業時の到達目標（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」で構成する。

- 1) 基礎分野と専門基礎分野は、専門領域を学ぶ上で土台となる。専門領域の基礎看護学を核とし、あらゆる対象、健康の段階、療養の場の看護を展開でき3年間で修得すべき能力を養う為に必要な学習の順序性を考え、さらに看護基礎教育と卒後教育の橋渡しとなるようカリキュラムを構成し、配置する。
- 2) 低学年時からグループ討論、演習、実習を多く取り入れ、反復と応用、体験を繰り返せるような組み合わせで配置する。
- 3) アクティブラーニング、シミュレーション学習、ロールプレイ学習など、知識だけでなく体験を通して学べるような教育方法を積極的に取り入れる。
- 4) 日常的な体験を通して、さまざまな人々と人間関係を形成するコミュニケーション能力を養えるような機会を提供する。
- 5) 豊かな人間性と、人に対する関心と思いやりをもち、誠実で良識ある行動ができるよう教科内に留まらず、学校生活のすべての場面を学びの機会とする。
- 6) 科目目標の達成度は、多様な評価方法を用いて総合的に評価する。

(2) 慈恵第三看護専門学校

I. 教学関係

1. 学校運営に関する会議

- ① 学校運営会議は、学校長、副校長、教務主任、事務長、その他専任教員で構成するものを8回、学校長、参与、全専任教職員構成するものを2回開催した。
- ② 教員会議を毎月2回以上、教職員会議を毎月1回、その他卒業認定会議、単位認定会議、入学試験判定会議、カリキュラム運営会議、臨床実習指導者会議等を開催した。
- ③ 学校関係者評価をオンライン会議にて実施した。

2. 教学関連の主な事項

- ① 3校合同入学式は前年度と同様、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19という）のため中止となり、本校33期生の入学式は、4月5日（火）、規模を縮小して大教室で挙行了した。
なお、保護者に向けてはZoomにて式典模様を配信し、式終了後、保護者会を開催した。
- ② 2022年度は1年生（33期生）48名、2年生（32期生）53名、3年生（31期生）51名の計152名で新学期を迎えた。
- ③ 2022年度の授業は、COVID-19の影響を受け前年度と同様、eラーニングによる遠隔授業を中心に対面授業と併用して実施した。
- ④ 2022年度より新カリキュラムが実施され、従来行っていた教育キャンプは廃止された。
- ⑤ 保護者会はCOVID-19の感染拡大状況により来校形式またはオンライン形式で開催した。
3年生 5月7日（土）オンライン形式